

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】(中学校用)

都道府県名	北海道
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	函館市立深堀中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	4	4	0	11	25
生徒数	114	132	145	0	391	

研究の概要

1. 研究主題

やる気がひかる生徒の育成をめざして ~「確かな学力」の向上に関する研究~
研究の基調

生徒一人一人の実態を把握し、生徒が自ら獲得すべき資質や能力を明確にするとともに、その育成のために教師と生徒、生徒相互の望ましい人間関係を基盤とした授業の構築をめざす。

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

少人数指導の実践

- ・1年生3学級の数学と英語の3時間全てを各学級を2つに分けた規模で授業を展開する。
- ・2年生4学級の数学と英語の3時間全てを各学級を2つに分けた規模で授業を展開する。

T・Tによる授業実践

- ・3年生4学級の数学は、3時間全てを2名の教師が協力して授業を展開する。
- ・3年生4学級の英語は、AETと連携して授業を展開する。

習熟の程度に応じた授業実践

- ・選択教科における数学や英語等で習熟の程度に応じたコースを設定し、実践する。

上記の通り、生徒の理解の状況に差が出やすい数学と英語の全学年の研究を中心とし、全領域全教科において校内研修を展開し、全校体制で研究に取り組んでいる。

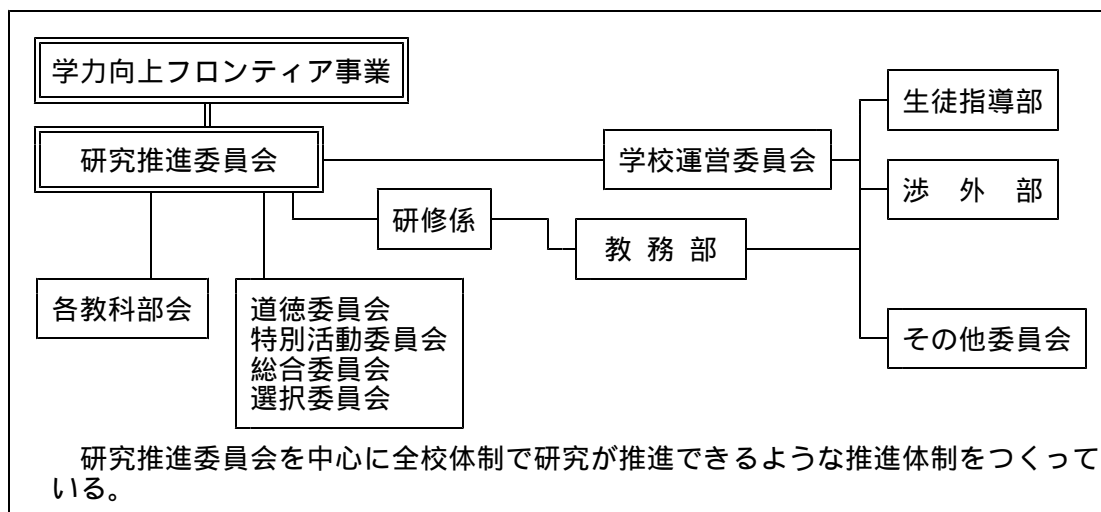
(2) 年次計画

平成14年度	(指定なし)
--------	--------

平成15年度	<p>テーマ 「基礎・基本の確実な定着をめざして」</p> <p>研究の見通し（仮説） 基礎・基本の確実な定着及び個に応じて更に理解を深める授業の要件を学習意欲の向上を中心とし，問題解決的な学習活動，体験的な学習活動，個に応じた学習活動の3点とした。生徒の実態や学習状況に応じ，自己評価の取り組みや小集団での活動を工夫し，学ぶことの楽しさや達成感，そして自分の成長をとらえる機会を意図的に設定し，学習意欲を高めることが「確かな学力」の向上につながると考えた。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学力向上」に関する研修と，本校のめざす「学力」についての共通理解を深める。 ・短い期間でその教科の達成度を測るテスト（Fテスト）の実施とその達成度に応じた補充学習の展開から，生徒の学習状況の実態を継続的に評価し，指導改善の資料とする。 ・各領域・各教科において，生徒のより主体的な学習が展開される授業の改善をすすめ，学習意欲の向上を図る。 ・全領域，全教科で授業研究や授業公開を実施する。 ・広く地域に実践を公開し，様々な方々からの意見等を授業改善に役立てていく。 ・年間指導計画や評価規準表の修正，改善に取り組む。
--------	---

平成16年度	<p>テーマ 「個に応じた学習活動の展開について」（仮）</p> <p>研究の見通し 前年度の学習意欲を中心とした授業改善を基盤に，生徒個々の学習状況についての学習カルテを共有化することにより，各領域や各教科との連携を深め，多角的な生徒理解が図られ，個に応じた指導の展開を可能にすることができる。このことを通して，生徒自らが自分のよさに気づくとともに，自分の学びをより展開していくなかで「確かな学力」の向上を図ることができるであろうと考えた。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取組を生かすとともに，指導計画の改善や修正を行う。 ・授業研究や公開授業を企画・推進する。 ・学習カルテの作成と共有システムを構築し，その利用についての研修を深める。 ・補充的な学習の効果的な展開と，発展的な内容の導入についての研修を深める。
--------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- ・本校のめざす「学力」についての共通理解が図られ、「確かな学力」向上に向けての授業改善の要点を明確にすることができた。
- ・アンケートや学習状況の調査などにより、生徒の実態や指導について現状をより客観的に把握することができた。

2. 今後の課題

- ・より効果的な少人数指導やT・T指導を目指す指導計画の作成と授業実践。
- ・選択教科における習熟度別コースの効果的な展開。
- ・各領域、各教科との連携や関連を図った学習活動の取組。
- ・評価、評定の工夫改善。

学力等把握のための学校としての取り組み

- ・学力標準検査の実施。
- ・Fテストの状況および補充学習の状況についての分析。
- ・保護者地域からのアンケート調査。
- ・生徒、教師からのアンケート調査。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・授業の公開と教育実践の交流
- ・Webページの改善・充実
- ・学校だより等の発行

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T.Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無